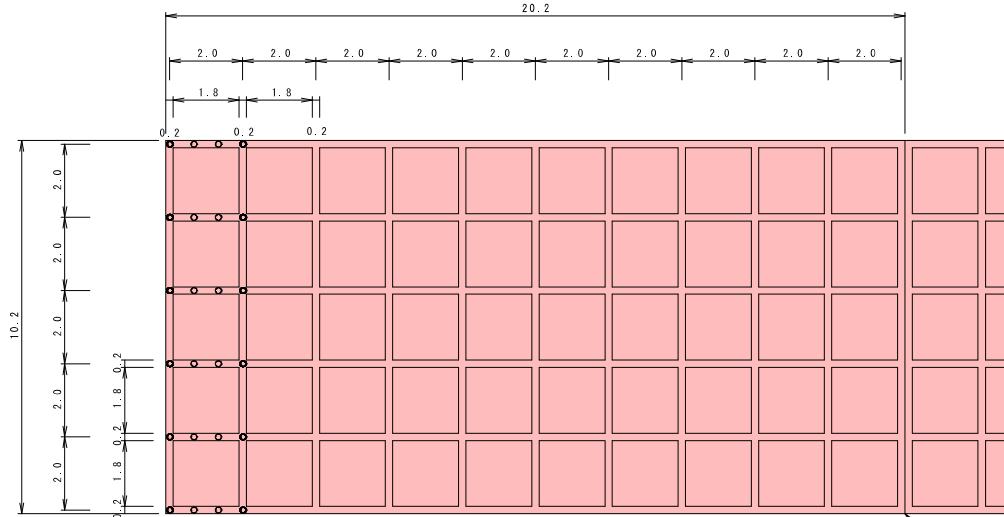


# 法枠工標準図

現場吹付法枠工標準図  
F200@2000 S=1:100

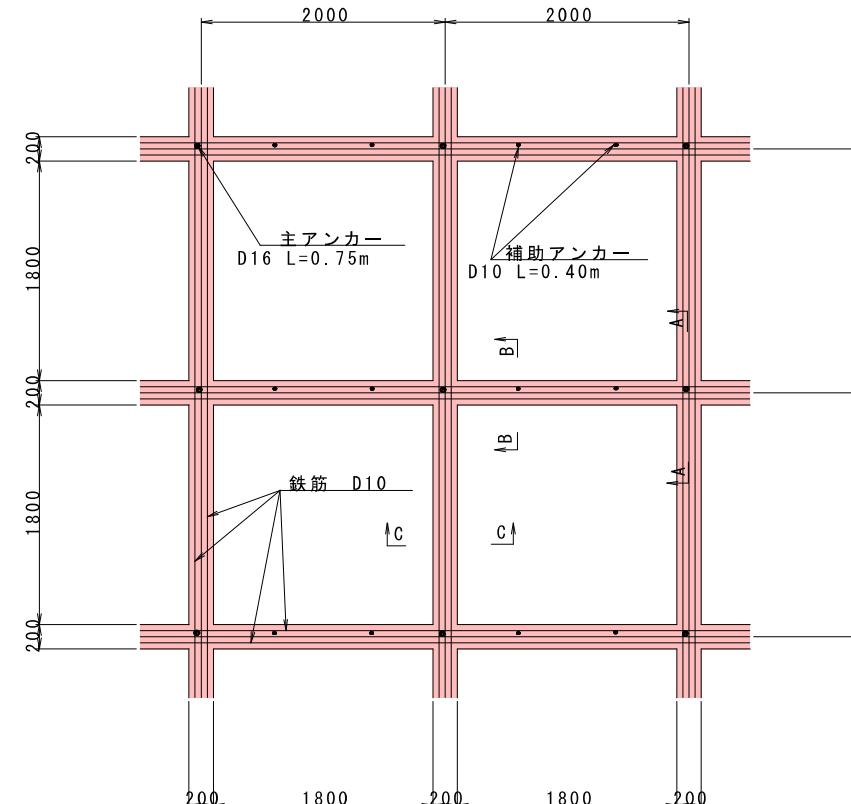


法枠工(F200@2000) 単位数量表

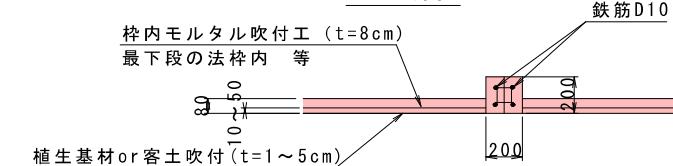
名 称	規 格	計 算 式	412.08m <sup>2</sup> 当り	100.00m <sup>2</sup> 当り	単位
面 積		10.20×20.20×2	412.080	100.000	m <sup>2</sup>
枠 長		(10.2×11+1.8×6×10) × 2	440.400	106.872	m
型 枠		(10.2×11+1.8×6×10) × 2	440.400	106.872	m
モルタル		{ (10.2×11+1.8×6×10) × 0.2×0.2 } × 2	17.616	4.275	m <sup>3</sup>
鉄 筋	D10	{ (10.1×4×11+20.1×4×6) × 0.56 } × 2	1038.016	251.897	kg
主アンカー	D16	(6×11) × 2	132.000	32.000	本
補助アンカー	D10	(6×2×10) × 2	240.000	58.000	本
目 地 材		10.2×0.2	2.040	0.495	m <sup>2</sup>
ラス金網	φ2 50×50mm 突出タイプ(全面張)	412.080	100.000	m <sup>2</sup>	
中詰面積	モルタル吹付部 1.80×1.80×5×10×2	324.000	78.625	m <sup>2</sup>	
枠内比率	モルタル吹付部 324.00÷412.08(補生基材吹付部は枠内面積単位数量表参照)	0.786	0.786		
枠 比 率	(440.4×0.2) ÷412.08	0.214	0.214		

現場吹付法枠工詳細図  
F200@2000 S=1:50

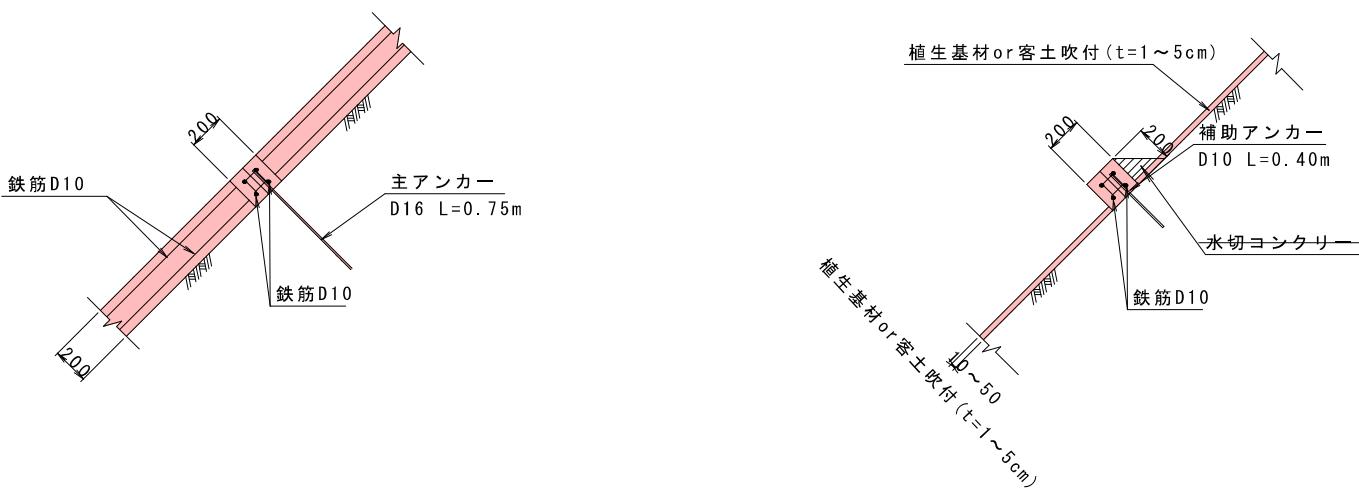
平面図



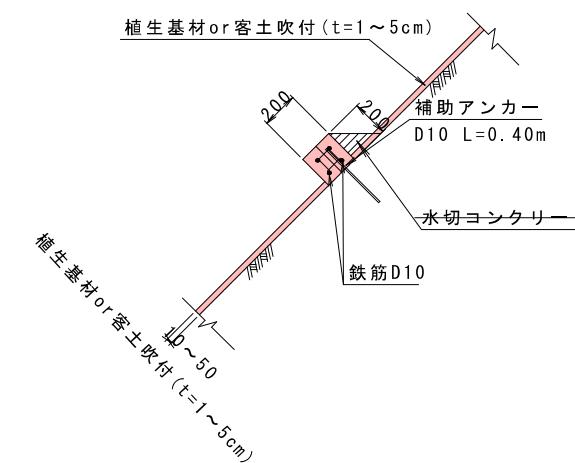
C-C断面



A-A断面



B-B断面



枠内面積単位数量表

法勾配	枠幅	法枠	計算式	412.08m <sup>2</sup> 当り	100m <sup>2</sup> 当り
0.600	0.200	2.000	(1.80-0.12)×1.80×5×10×2	= 302.40	302.40 73.38
0.800	0.200	2.000	(1.80-0.16)×1.80×5×10×2	= 295.20	295.20 71.64
1.000	0.200	2.000	(1.80-0.20)×1.80×5×10×2	= 288.00	288.00 69.89
1.100	0.200	2.000	(1.80-0.22)×1.80×5×10×2	= 284.40	284.40 69.02
1.200	0.200	2.000	(1.80-0.24)×1.80×5×10×2	= 280.80	280.80 68.14
1.400	0.200	2.000	(1.80-0.28)×1.80×5×10×2	= 273.60	273.60 66.39
1.500	0.200	2.000	(1.80-0.30)×1.80×5×10×2	= 270.00	270.00 65.52
1.600	0.200	2.000	(1.80-0.32)×1.80×5×10×2	= 266.40	266.40 64.64

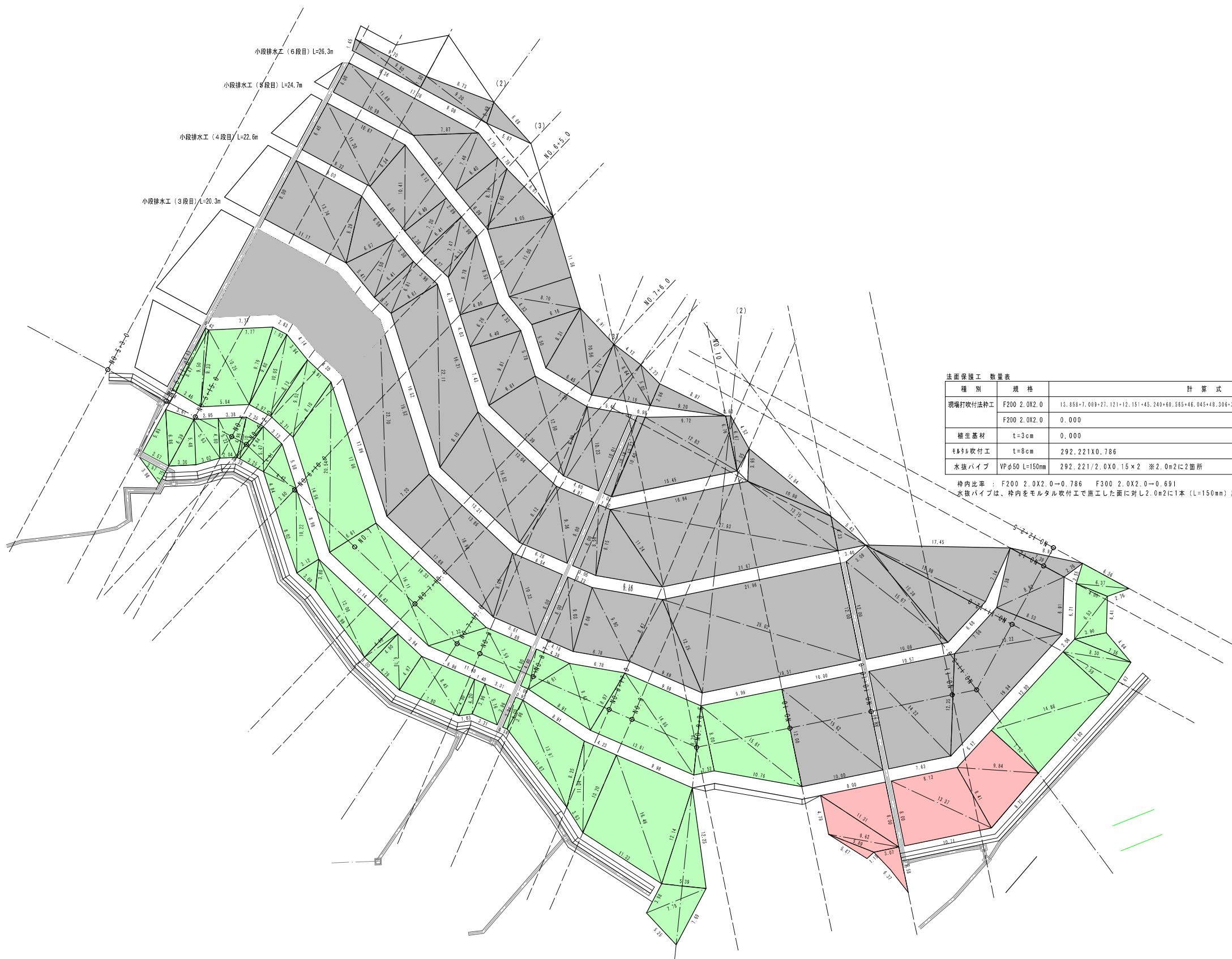
水切コンクリート単位数量表

法勾配	枠幅	法枠	計算式	412.08m <sup>2</sup> 当り	100m <sup>2</sup> 当り
0.600	0.200	2.000	(0.12×0.20×1/2)×1.80×5×10×2	= 2.16	2.16 0.52
0.800	0.200	2.000	(0.16×0.20×1/2)×1.80×5×10×2	= 2.88	2.88 0.70
1.000	0.200	2.000	(0.20×0.20×1/2)×1.80×5×10×2	= 3.60	3.60 0.87
1.100	0.200	2.000	(0.22×0.20×1/2)×1.80×5×10×2	= 3.96	3.96 0.96
1.200	0.200	2.000	(0.24×0.20×1/2)×1.80×5×10×2	= 4.32	4.32 1.05
1.400	0.200	2.000	(0.28×0.20×1/2)×1.80×5×10×2	= 5.04	5.04 1.22
1.500	0.200	2.000	(0.30×0.20×1/2)×1.80×5×10×2	= 5.40	5.40 1.31
1.600	0.200	2.000	(0.32×0.20×1/2)×1.80×5×10×2	= 5.76	5.76 1.40

実施設計図

鹿児島県					
工事名	令和7年度 大規模特定消防署(急傾斜)工事(大峯3地区R7-1工区)				
河川名	大峯3地区				
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内				
図面種類	現場吹付法枠工標準図(3-1)				
縮尺	図示				
図面番号	全 28 頁第 17 号				

# 法面工展開図 (6-4) S=1:250

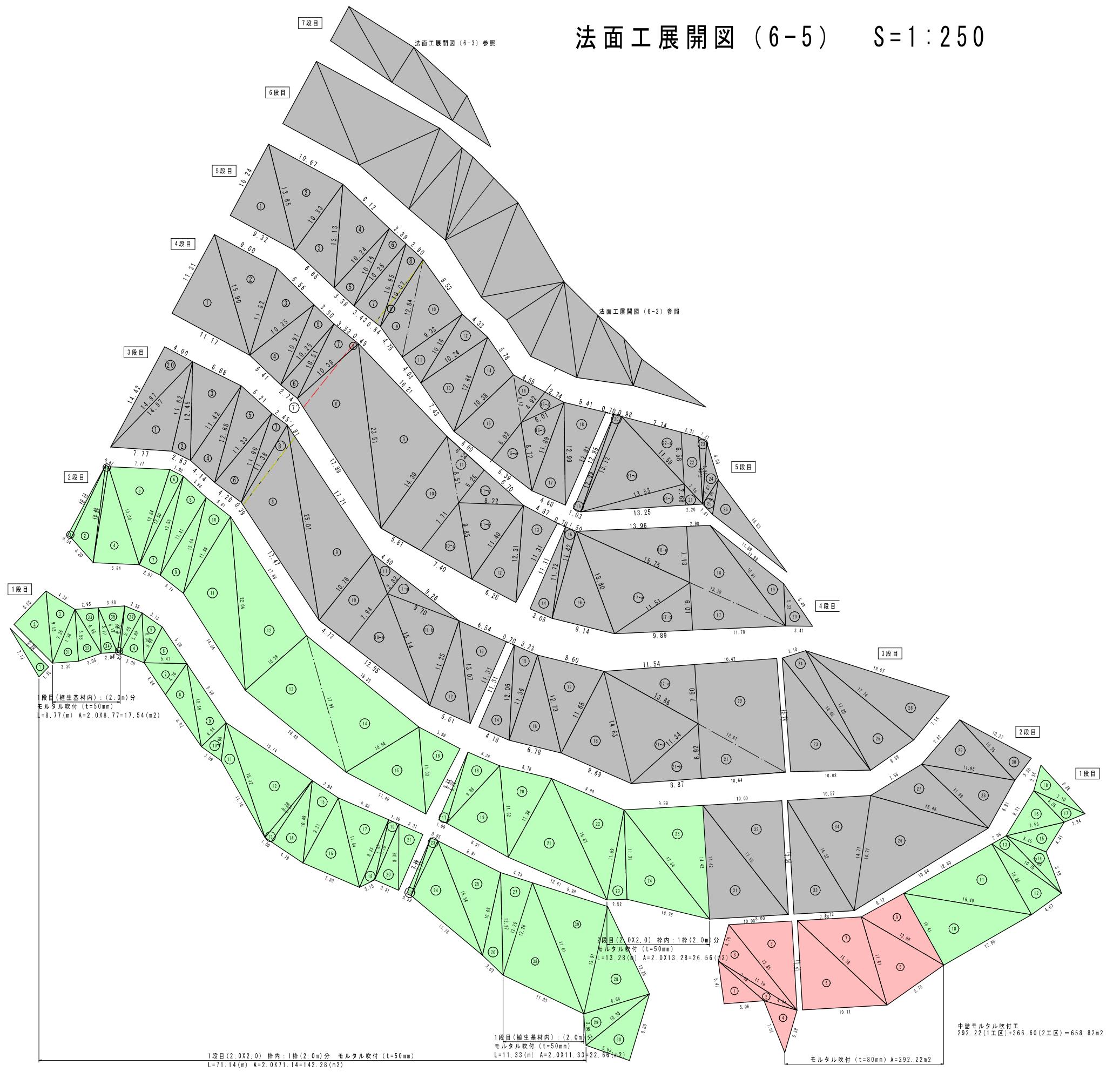


実施設計図

(1工区)

鹿児島県	
工事名	令和7年度 大規模特定防災（急傾斜）工事（大峯3地区R7-1工区）
河川名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	法面工展開図 (6-4)
縮尺	図示のとおり
図面番号	全 28 頁 第 18 号

# 法面工展開図 (6-5) S=1:250



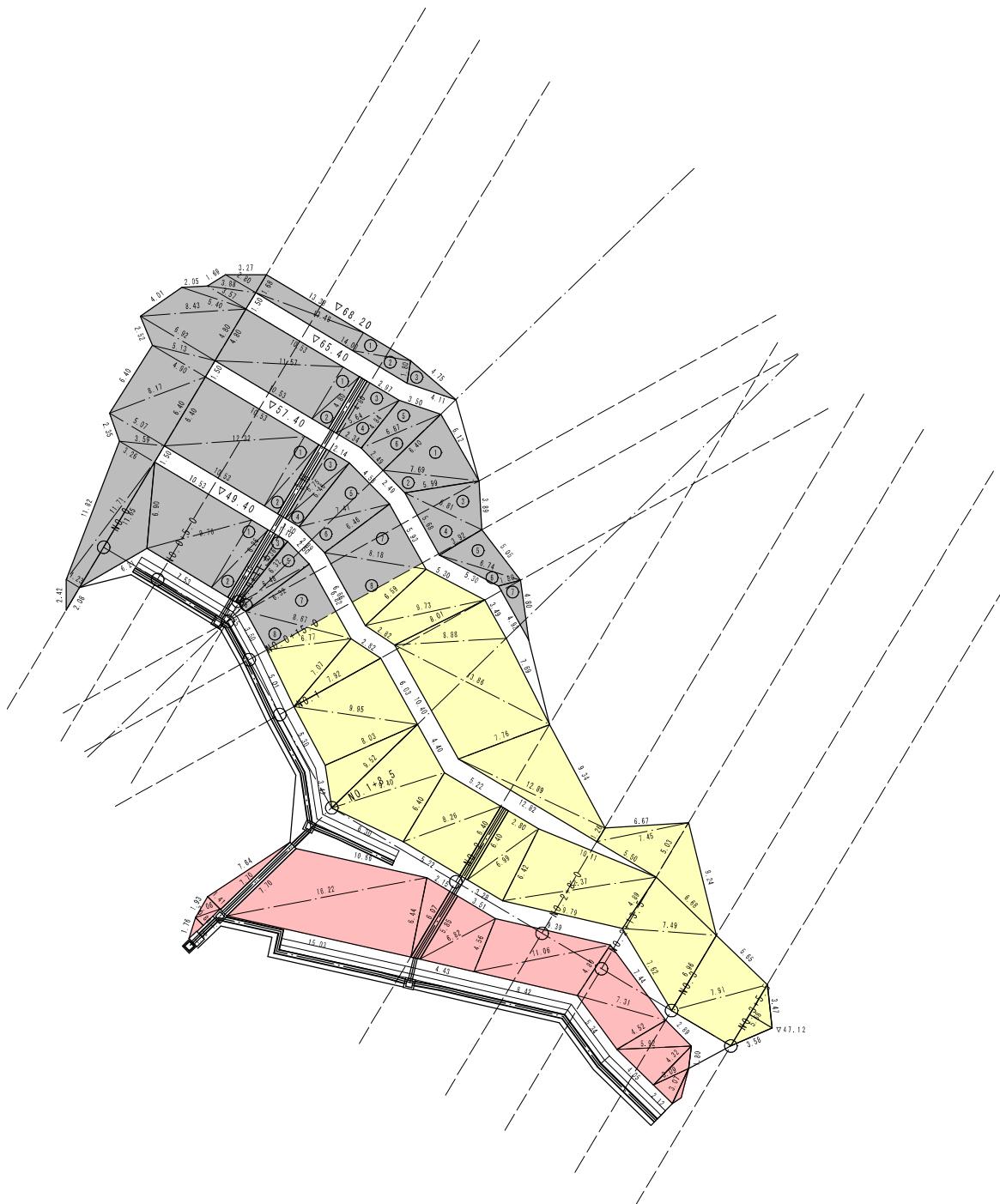
実施設計図

(1工区)

鹿児島県

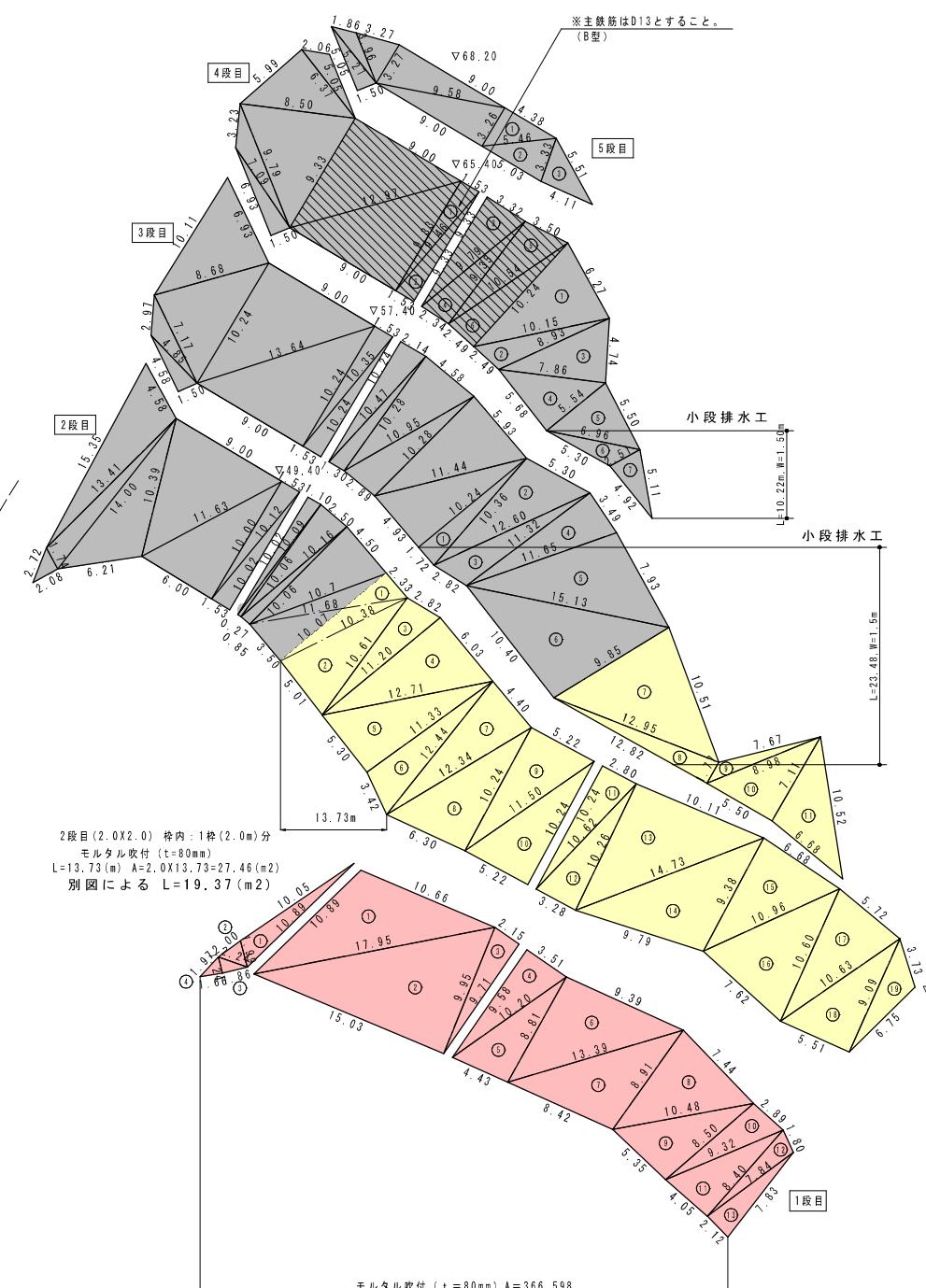
工事名	令和7年度 大規模斜面防護等(急傾斜)工事(大峯3地区R7-1工区)			
河川名	大峯3地区			
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内			
図面種類	法面工展開図 (6-5)			
縮尺	図示のとおり			
図面番号	全 28 菜第 19 号			

# 法面工展開図 (6-6) S=1:250



法面保護工 数量表		1.0式当たり	
種別	規格	計算式	数量 単位
現場打吹付法施工	F200 2.0X2.0	13.516+353.082	366.598 m <sup>2</sup>
	F200 2.0X2.0	0.000	0.00 m <sup>2</sup>
植生基材	t=3cm	0.000	0.00 m <sup>2</sup>
モルタル吹付工	t=8cm	366.598X0.786	288.146 m <sup>2</sup>
水抜パイプ	VPφ50 L=150mm	366.598/2.0X0.15×2 ≈ 2.0m <sup>2</sup> に2箇所	54.990 m <sup>2</sup>

斜面比率: F200 2.0X2.0 → 0.786 (標準断面図参照)  
水抜パイプは、枠内をモルタル吹付工で施工した面に対し2.0m<sup>2</sup>に2箇所(L=150mm)設置する。



起点側 据付部 F200-2.0X2.0-t30 (A型)				
記号	a	b	c	s 面積 m <sup>2</sup>
1	10.89	1.99	10.05	11.47 9.463
2	2.00	2.24	1.99	3.12 1.864
3	2.24	1.24	1.86	2.67 1.153
4	1.66	1.97	1.24	2.44 1.036
				面積 m <sup>2</sup> 13.516

1段目 F200-2.0X2.0-t30 (A型)				
記号	a	b	c	s 面積 m <sup>2</sup>
1	10.89	10.66	17.95	19.75 53.508
2	17.95	9.95	15.03	21.47 74.878
3	9.71	2.15	9.95	10.91 10.493
4	3.51	10.20	9.58	11.65 16.871
5	4.43	8.81	10.20	11.72 19.440
6	8.81	13.39	9.39	15.80 41.305
7	13.39	8.42	8.91	15.36 36.803
8	10.48	7.44	8.91	13.42 32.620
9	5.35	8.50	10.48	12.17 22.689
10	8.50	2.89	9.32	10.36 12.235
11	8.40	4.05	9.32	10.89 17.064
12	7.84	1.80	8.40	9.02 6.903
13	7.84	2.12	7.83	8.90 8.273
				面積 m <sup>2</sup> 353.082

(2工区)  
A=13.516+353.082=366.598(m<sup>2</sup>)

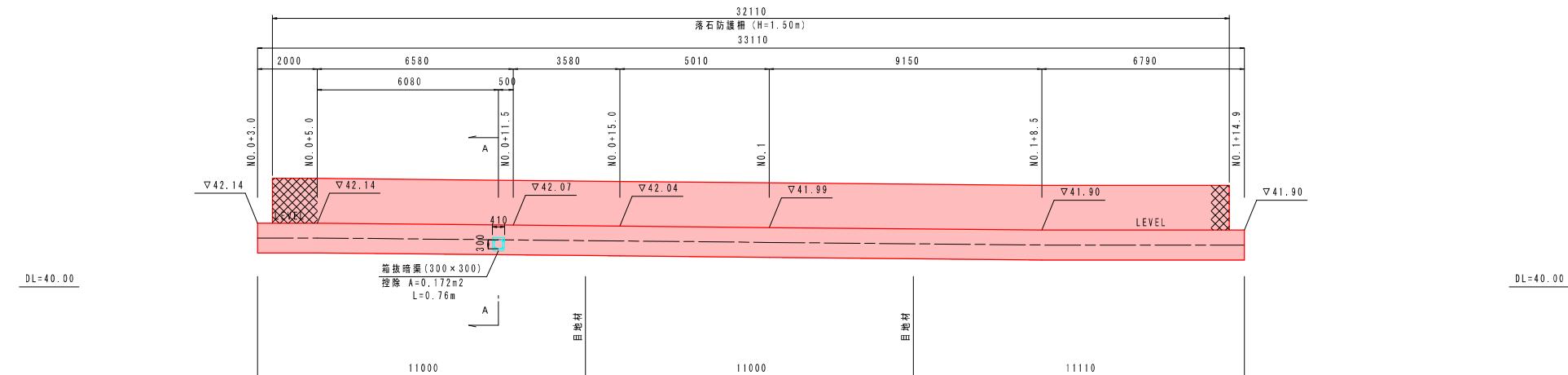
## 実施設計図

(2工区)		鹿児島県
工事名	合計7年度 大規模特定砂防等(急傾斜)工事(大峯3地区R7-1工区)	
河川名 基線		
工事箇所		
図面種類		
縮尺		
図面番号		

全 28 葉 第 20 号

# 第6号斜面下部対策工

展開図 S=1:100

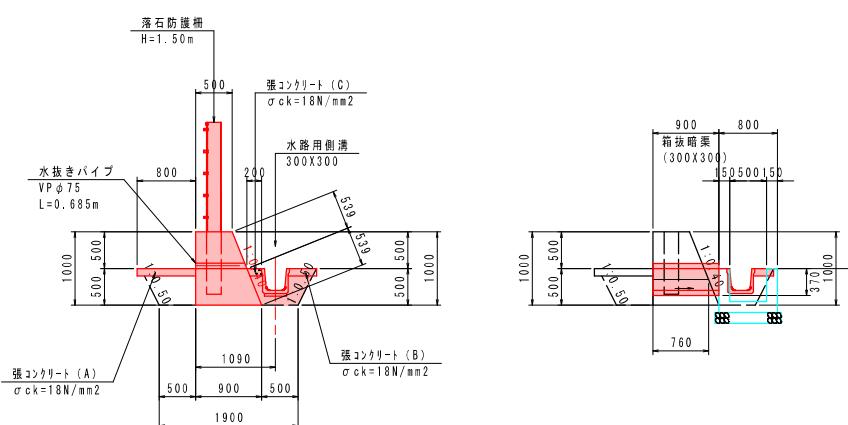


標準断面図 S=1:50  
(H=1.00m 前面勾配1:0.40)

断面図

A-A断面図  
(開口部)

土工図



張コンクリートは、別途求積図にて計上。

【平板載荷位置における必要地耐力】  
q=30(kN/m²)以上

斜面下部対策工 数量表 (H=1.00m)

種別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	σck=18N/mm²	$1/2 \times (0.50 + 0.90) \times 1.00 \times 10.0 - (15.400 + 5.400) \times 0.040$	6.168	6.17 m³
型枠	残存溝面型枠	$(1.00 + 0.54) \times 10.0$	15.400	15.40 m²
	残存化粧型枠	$0.54 \times 10.0$	5.400	5.40 m²
水抜パイフ	VP75	$0.685 \times 10.0 / 2.0$	3.425	3.43 m
目地材	I53×4 t=10mm	$1/2 \times (0.50 + 0.90) \times 1.00$	0.700	0.70 m²
張コンクリート	σck=18N/mm²	$(0.80 + 0.20) \times 10.0$	10.000	10.00 m²

(注)  
擁壁下面については、施工前（床堀後）平板載荷試験を実施し、必要地盤の支持力を確認すること。  
擁壁最大地盤反力：28.73 (kN/m²) 摊量作用鉛直力：18.56 (kN)

土工数量	1.0m当たり
種別	規格
床 堀	砂質土
埋 戻	砂質土
残 土 处 理	砂質土
基面整正	

数量表 (300X300)	1.0m当たり
種別	規格
横断路渠	300X300

第6号斜面下部対策工 数量表 (H=1.00m)			
種別	規 格	計算 式	数 量 単位
コンクリート	σck=18N/mm²	$6.17 \times 33.11 / 10.00 - 0.172 \times 0.76$	20.298 20.30 m³
型 枠	残存溝面型枠	$15.40 \times 33.11 / 10.00 - 0.172 \times (1.000 + 1.077)$	50.632 50.63 m²
	残存化粧型枠	$5.40 \times 33.11 / 10.00$	17.879 17.88 m²
水 抜 パイフ	VP75	$3.43 \times 33.11 / 10.00$	11.357 11.36 m
目地材	I53×4 t=10mm	$0.70 \times 2$	1.400 1.40 m²
箱抜暗渠	300X300	$0.90 \times 1$	0.900 0.90 m
張コンクリート	σck=18N/mm²	張コンクリート求積図にて計上。	- - m²

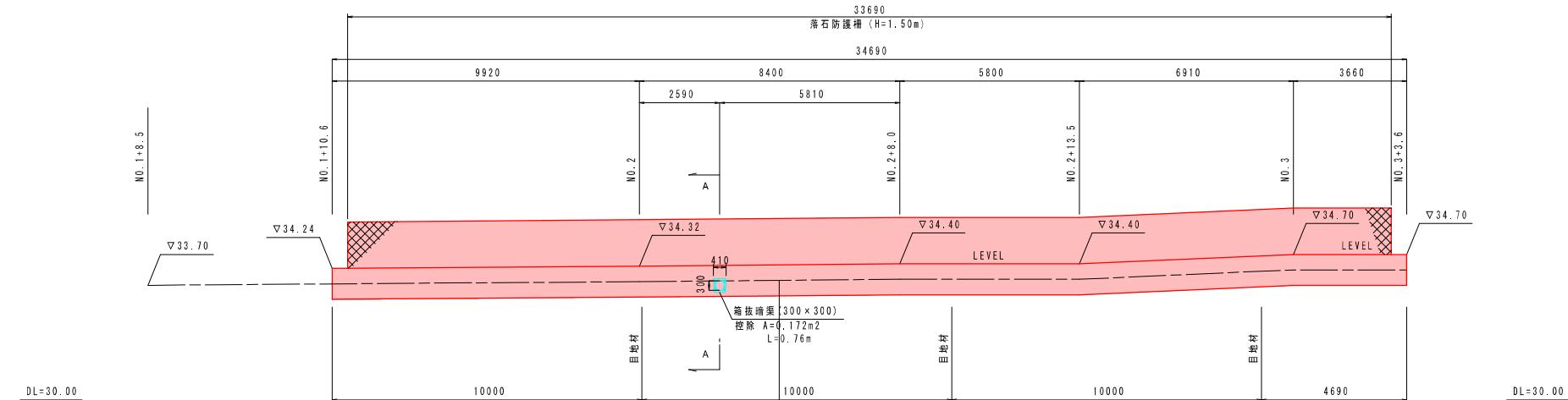
第6号斜面下部対策工 土工数量			
種別	規 格	計算 式	数 量 単位
床 堀	砂質土	$33.11 \times 1.1$	36.4 36.4 m³
埋 戻	砂質土	$33.11 \times 0.5$	16.6 16.6 m³
残 土 处 理	砂質土	$36.4 - 16.6 / 0.9 = 18.0$	18.0 18.0 m³
基面整正		$33.11 \times 0.9$	29.8 29.8 m²

## 実施設計図

(2工区)	
鹿児島県	
工事名	令和7年度 大規模持続防災（急傾斜）工事（大峯3地区R7-1工区）
河川名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	第6号斜面下部対策工
縮 尺	図示のとおり
図面番号	全 28 葉 第 21 号

# 第7号斜面下部対策工

展開図 S=1:100

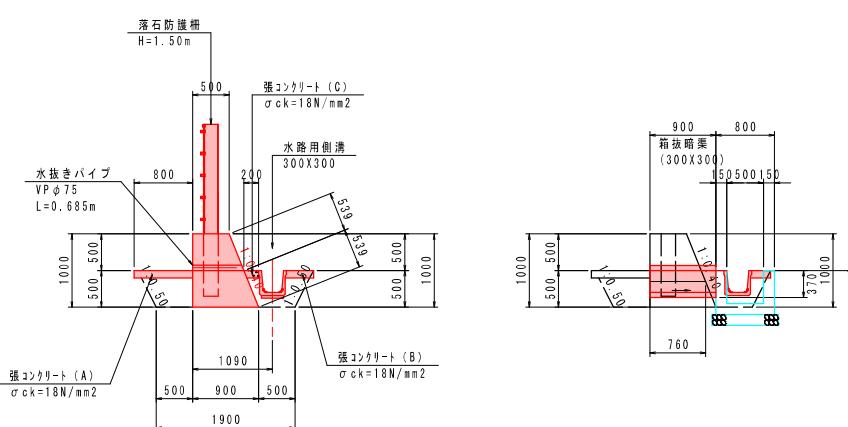


標準断面図 S=1:50  
(H=1.00m 前面勾配1:0.40)

断面図

A-A断面図  
(開口部)

土工図



張コンクリートは、別途求積図にて計上。

【平板載荷位置における必要地耐力】  
q=30(kN/m<sup>2</sup>)以上

斜面下部対策工 数量表 (H=1.00m)

種別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	1/2(X(0.50+0.90)X1.00X10.0-(15.400+5.400)X0.040)	6.168	6.17 m <sup>3</sup>
型枠	残存溝面型枠 (1.00+0.54)X10.0	15.400	15.40	m <sup>2</sup>
	残存化粧型枠 0.54X10.0	5.400	5.40	m <sup>2</sup>
水抜パイプ	VP75 0.685X10.0/2.0	3.425	3.43	m
目地材	I53×4 t=10mm 1/2(X(0.50+0.90)X1.00	0.700	0.70	m <sup>2</sup>
張コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup> (0.80+0.20)X10.00	10.000	10.00	m <sup>2</sup>

(注)  
擁壁下面については、施工前（床堀後）平板載荷試験を実施し、必要地盤の支持力を確認すること。  
擁壁最大地盤反力：28.73 (kN/m<sup>2</sup>) 摂量作用鉛直力：18.56 (kN)

土工数量	1.0m当たり
種別	規格
床 堀	砂質土
埋 戻	砂質土
残 土 处 理	砂質土
基面整正	

数量表 (300X300)	1.0m当たり
種別	規格
横断路	300X300

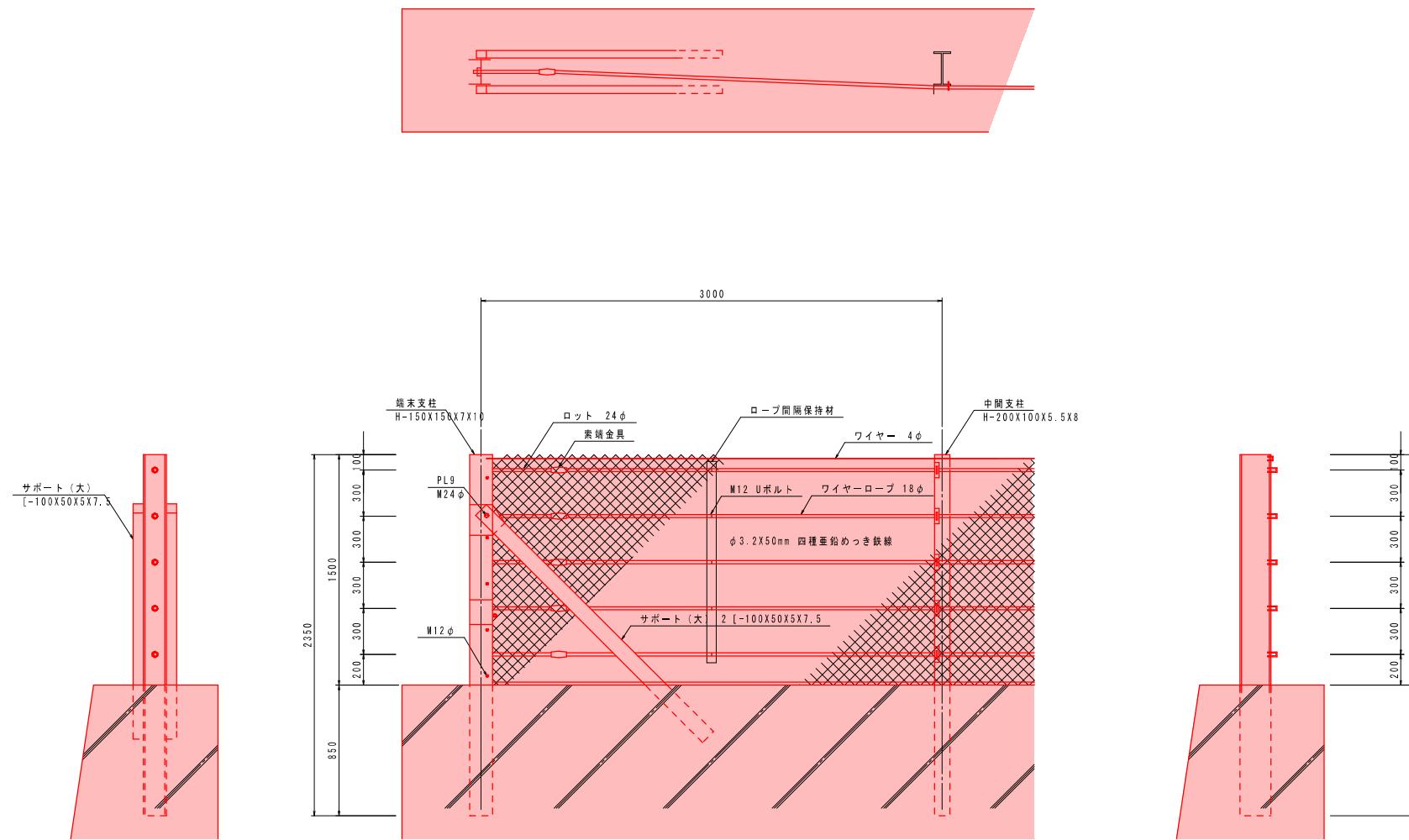
第7号斜面下部対策工 数量表 (H=1.00m)			
種別	規 格	計算 式	数 量 単位
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	6.17X34.69/10.00-0.172X0.76	21.273 21.27 m <sup>3</sup>
型 枠	残存溝面型枠 15.40X34.69/10.00-0.172X(1.000+1.077)	53.065 53.07 m <sup>2</sup>	
	残存化粧型枠 5.40X34.69/10.00	18.733 18.73 m <sup>2</sup>	
水 抜 パイプ	VP75 3.43X34.69/10.00	11.899 11.90 m	
目地材	I53×4 t=10mm 0.70X3	2.100 2.10 m <sup>2</sup>	
箱抜暗渠	300X300 0.90X1	0.900 0.90 m	
張コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup> 張コンクリート求積図にて計上。	- - m <sup>2</sup>	

第7号斜面下部対策工 土工数量			
種別	規 格	計算 式	数 量 単位
床 堀	砂質土	34.69X1.1	38.2 38.2 m <sup>3</sup>
埋 戻	砂質土	34.69X0.5	17.3 17.3 m <sup>3</sup>
残 土 处 理	砂質土	38.2-17.3/0.9	19.0 19.0 m <sup>3</sup>
基面整正		34.69X0.9	31.2 31.2 m <sup>2</sup>

実施設計図

(2工区)	
鹿児島県	
工事名	合和7年度 大規模滑定砂防等(急傾斜)工事(大峯3地区R7-1工区)
河川名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	第7号斜面下部対策工
縮 尺	図示のとおり
図面番号	全 28 菜 第 22 号

落石防護柵工 S=1:20  
(H=1.50m)



実施設計図

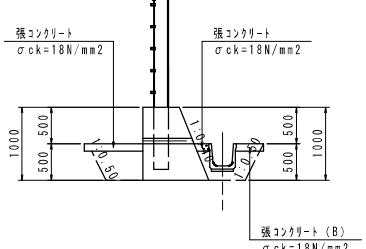
鹿児島県	
工事名	令和7年度 大規模特定砂防等(急傾斜)工事(大峯3地区R7-1工区)
河川名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	落石防護柵工
縮尺	S=1:20
図面番号	全 28 菜第 23 号

# 張コンクリート工求積図 S=1:500

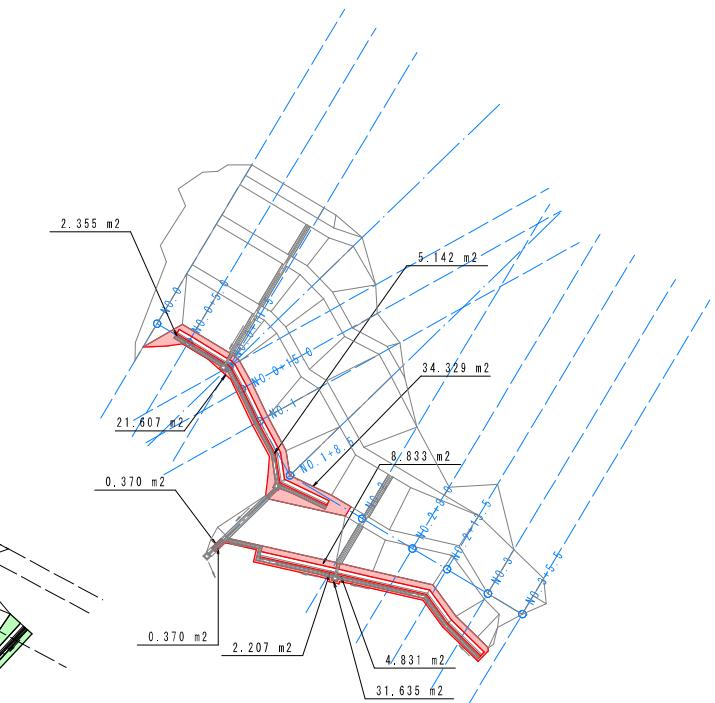
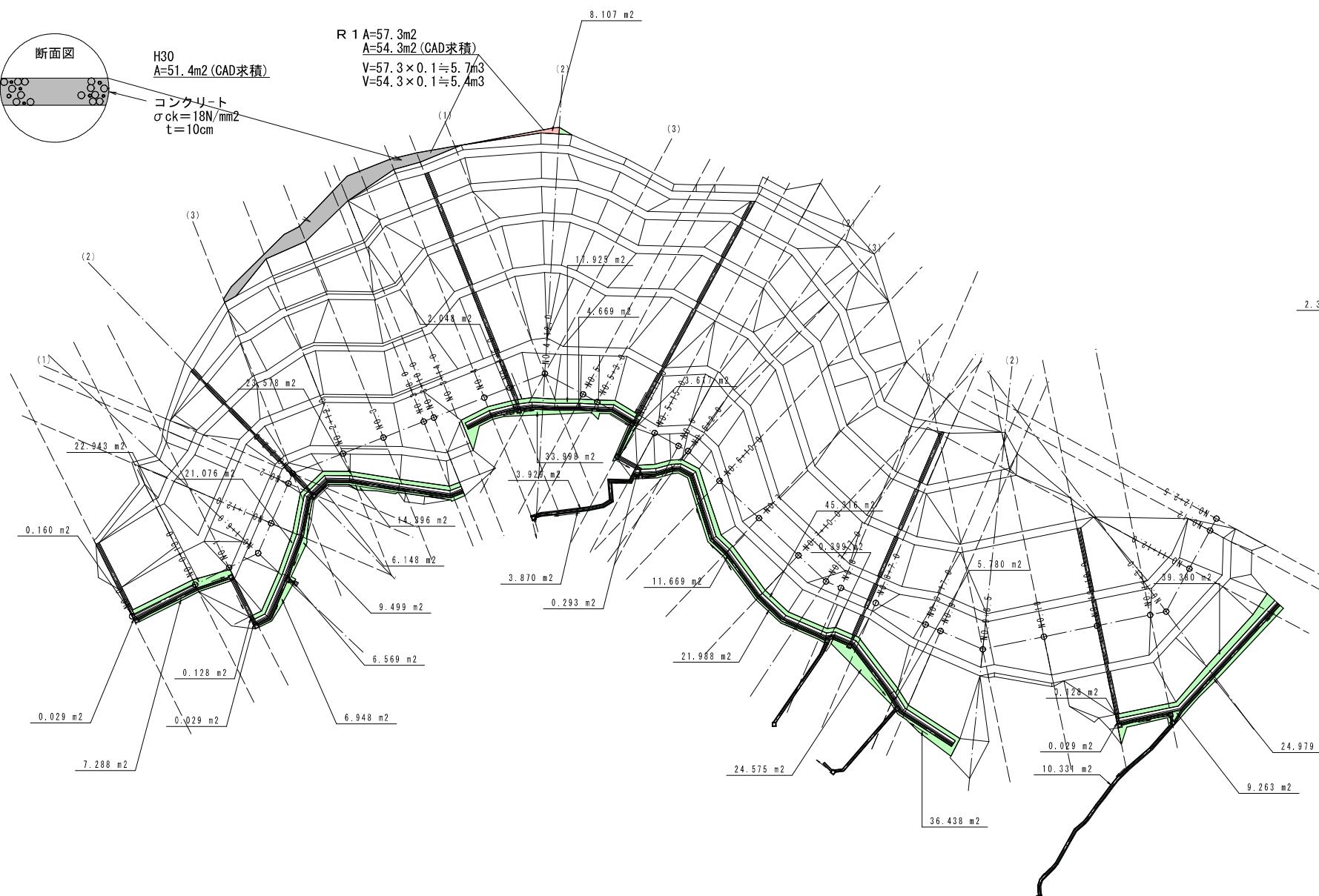
張コンクリート工 数量表 (1工区)		計算式	数量	単位
種別	規格			
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.160+22.943+0.029+7.288$	30.420	
	$t=10cm$	$0.128+21.076+23.578+14.396+6.148+9.499+6.569+6.948+0.029$		
			88.371	
			2.048+17.925+4.669+3.617+33.998	
			62.257	
			3.929+45.316+36.438+5.780+24.575+0.399+21.988+11.669+0.293+9.870	
			160.257	
			0.128+39.380+24.979+9.263+10.331+0.029	
			84.110	
			113.512+8.107	
			121.619	
			547.03 m <sup>2</sup>	
			(斜面土部)	

張コンクリート工 数量表 (2工区)		計算式	数量	単位
種別	規格			
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$2.355+5.142+34.329+21.607$	63.433	
	$t=10cm$	$0.370+0.370+8.833+4.831+31.635+2.207$	48.246	m <sup>2</sup>

標準断面図 S=1:50  
(H=1.00m 前面勾配1:0.40)



本図面での求積は、張コンクリート(A)、(B)、(C(集水樹移行部))である。  
張コンクリート(B)は、水路側へ勾配を持たせて施工すること。

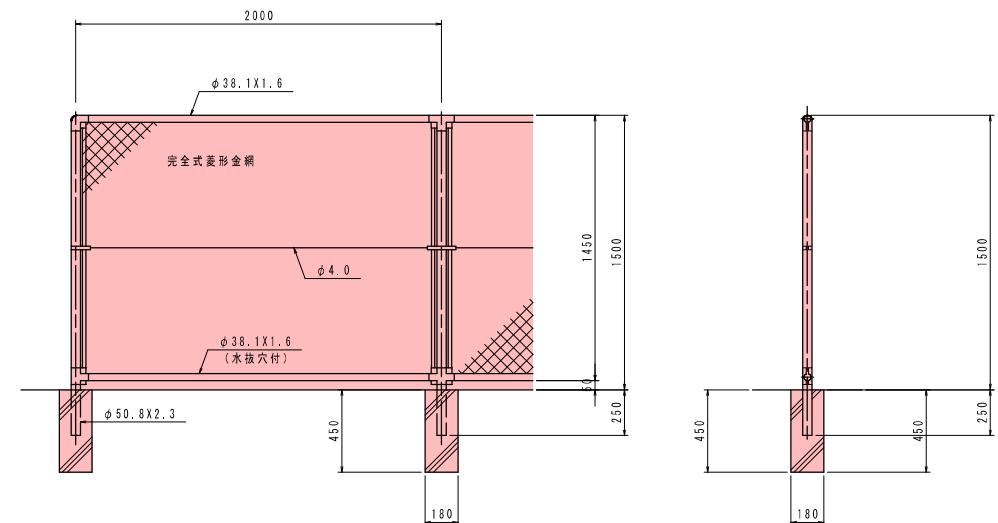


## 実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和7年度 大規模特定防護等（急傾斜）工事【大峯3地区R7-1工区】
河川名	大峯川
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	張コンクリート工求積図・排水工構造図
縮尺	S=1:500
図面番号	全 28 菜 第 24 号

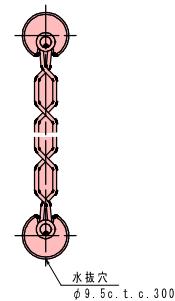
# 安全施工 S=1:20

進入防止柵  
(H=1500)



設計条件  
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力による。  
備考  
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。

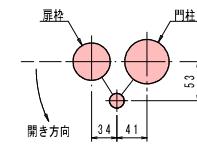
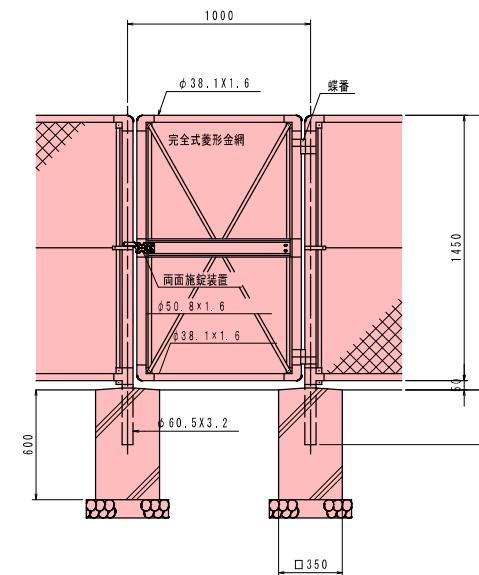
胴縁に金網取付断面図



進入防護柵 数量表 10m当たり				
種別	規格	計算式	数量	単位
進入防護柵	H=1500	10.0	10.0	m
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.18 \times 0.18 \times 0.45 - 1/4 \times 0.05 \times 0.05 \pi \times 0.25) \times 5$	0.07	m <sup>3</sup>
型枠	小型構造物	$0.18 \times 0.45 \times 4 \times 5$	1.62	m <sup>2</sup>

片開き門扉  
H1500XW1000

門柱・扉枠位置関係図



設計条件  
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力による。  
備考  
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。  
本図門扉は片側180°開きとする。

片開き門扉 数量表 1.0箇所当たり				
種別	規格	計算式	数量	単位
片開き門扉	H=1500	$1500(H) \times 1000(W)$	1.0	個
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.35 \times 0.35 \times 0.60 - 1/4 \times 0.06 \times 0.06 \times \pi \times 0.30) \times 2$	0.145	m <sup>3</sup>
型枠	小型構造物	$0.35 \times 0.60 \times 4 \times 2$	1.680	m <sup>2</sup>

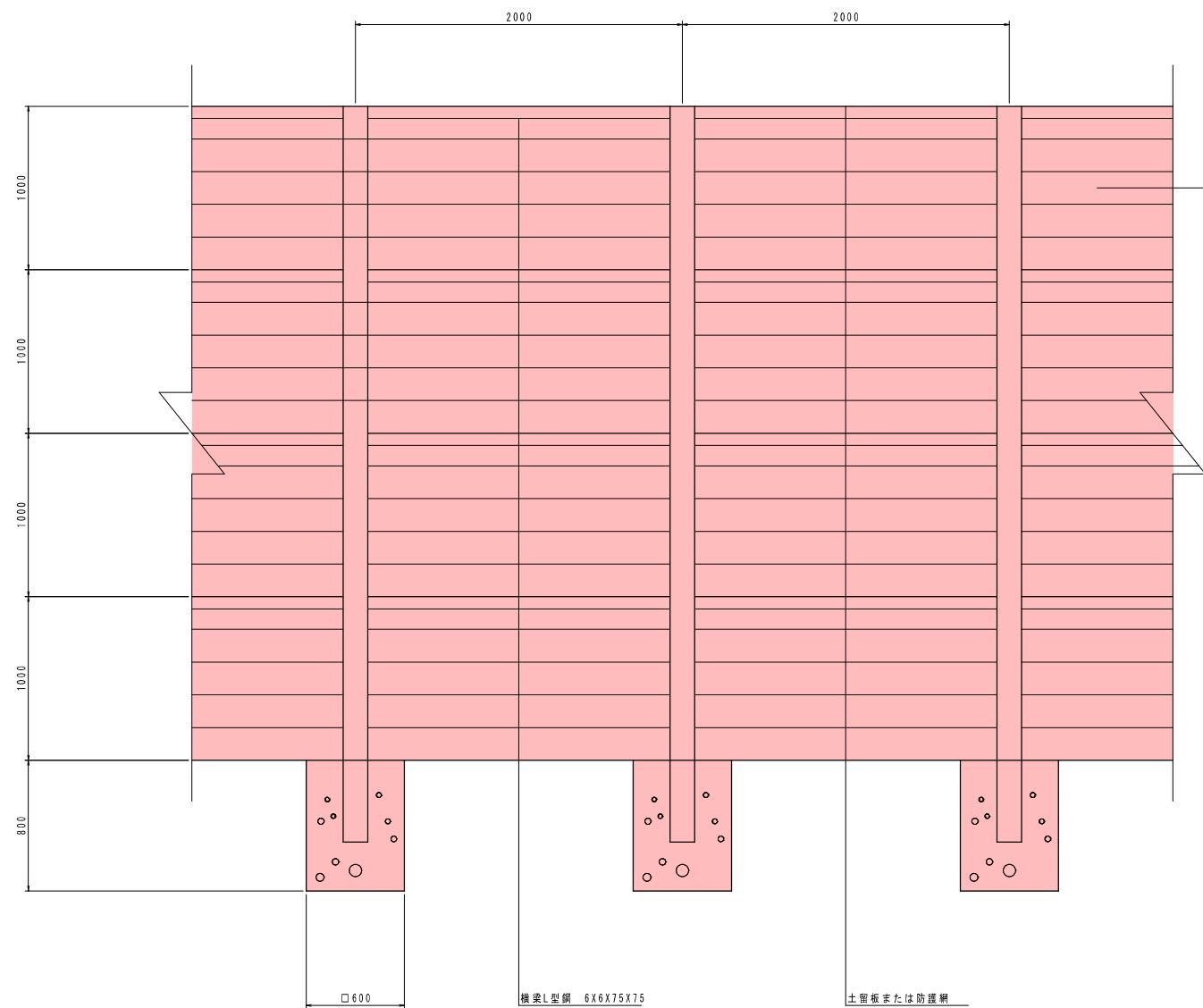
実施設計図

鹿児島県
工事名
河川名
工事箇所
図面種類
縮尺
図面番号

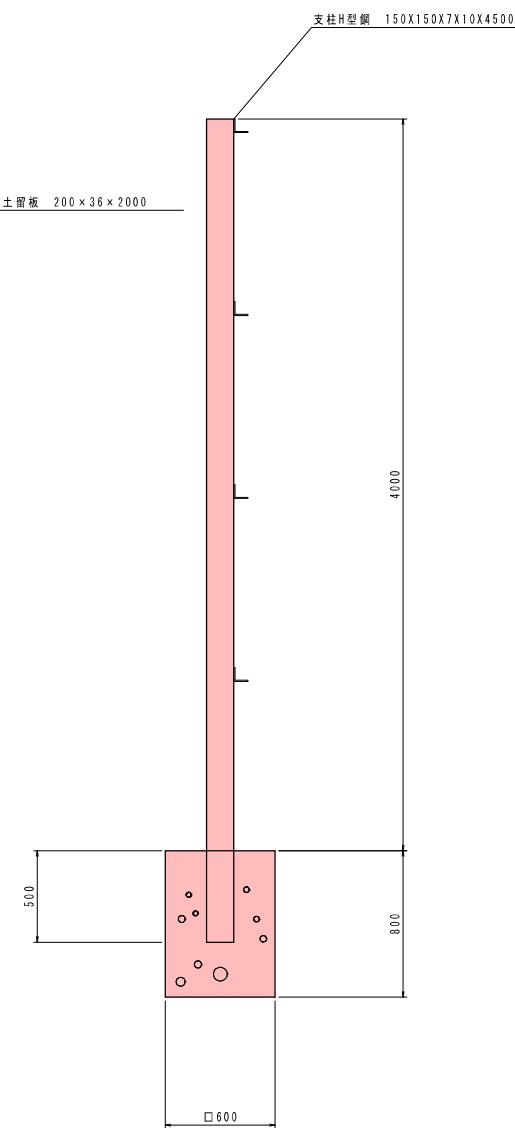
# 仮設防護柵工 S=1:20

## 付属物工

正面図



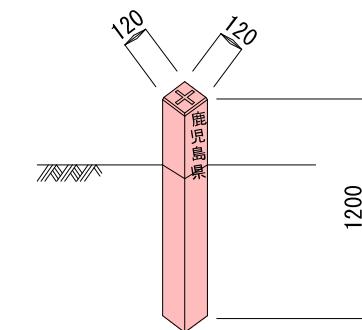
側面図



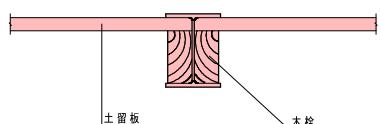
名称板 S=1:5



境界柱 S=1:20



断面図 S=1:10

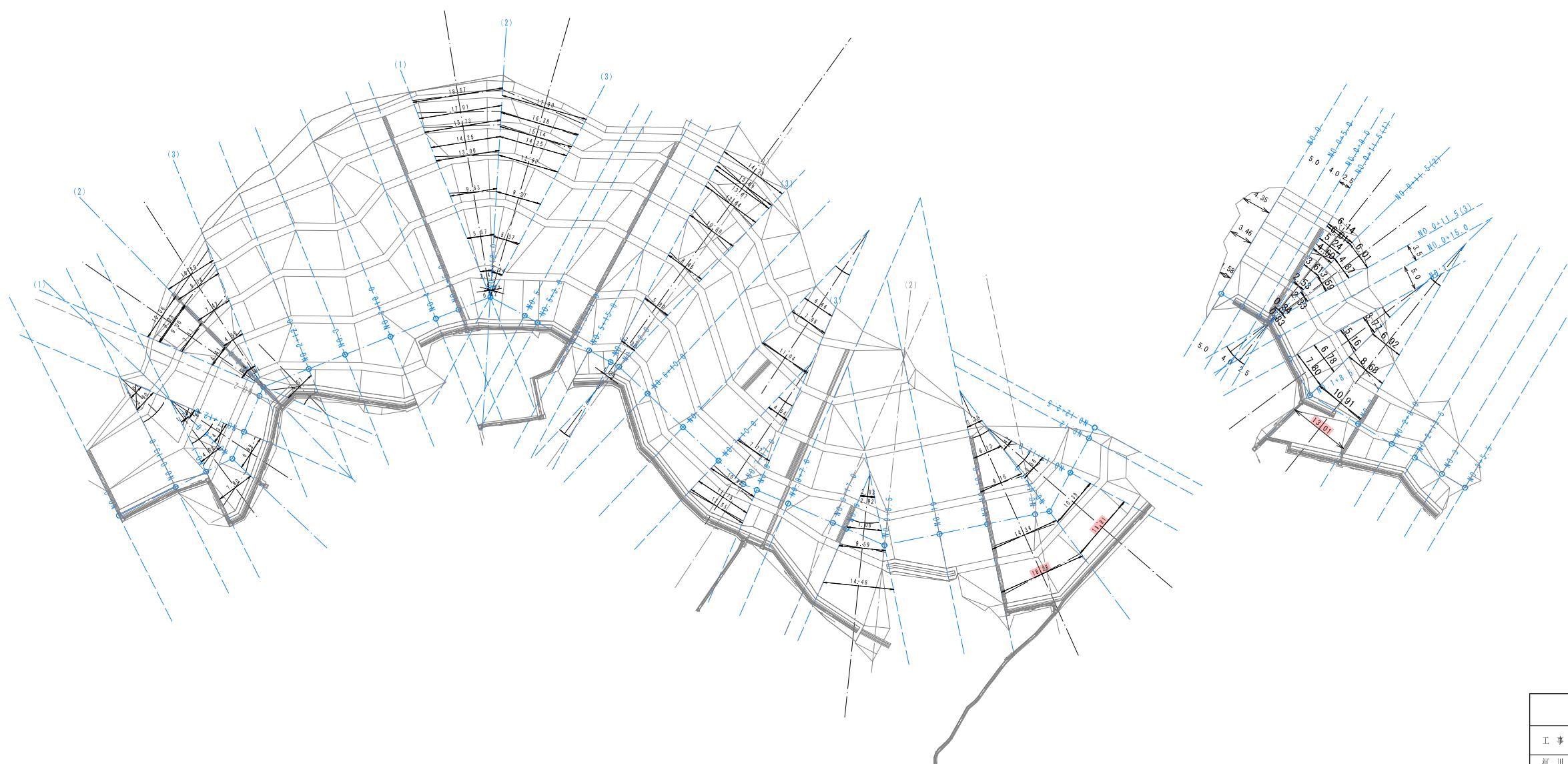
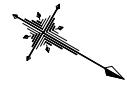


実施設計図

仮設防護柵工 数量表				
種別	規格	計算式	数量	単位
床 混	普通土	0.60X0.60X0.80X6	1.728	m <sup>3</sup>
埋戻し	普通土	0.60X0.60X0.80X6	1.728	m <sup>3</sup>
支 柱	H型鋼	150X150X7X10X4500-4000	31.1(kg/m) X 4.50X6/1000	t
横 梁	L型鋼	6X6X75X75	6.85(kg/m) X 2.00X4X5/1000	t
土留板	松板厚3.6cm	200X36X2000	4.00X10.00X0.036	m <sup>3</sup>
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.60X0.60X0.80X6	1.728	m <sup>3</sup>

鹿児島県	
工事名	令和7年度 大規模特定砂防等(急傾斜)工事(大峯3地区R7-1工区)
河川名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 沖内
図面種類	仮設防護柵工・付属物工
縮尺	図示のとおり
図面番号	全 28 葉 第 26 号

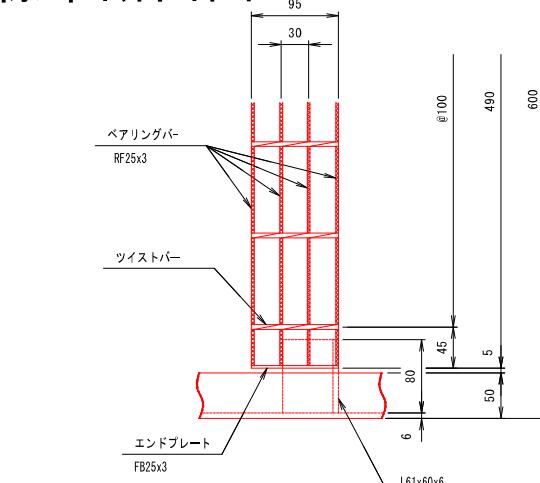
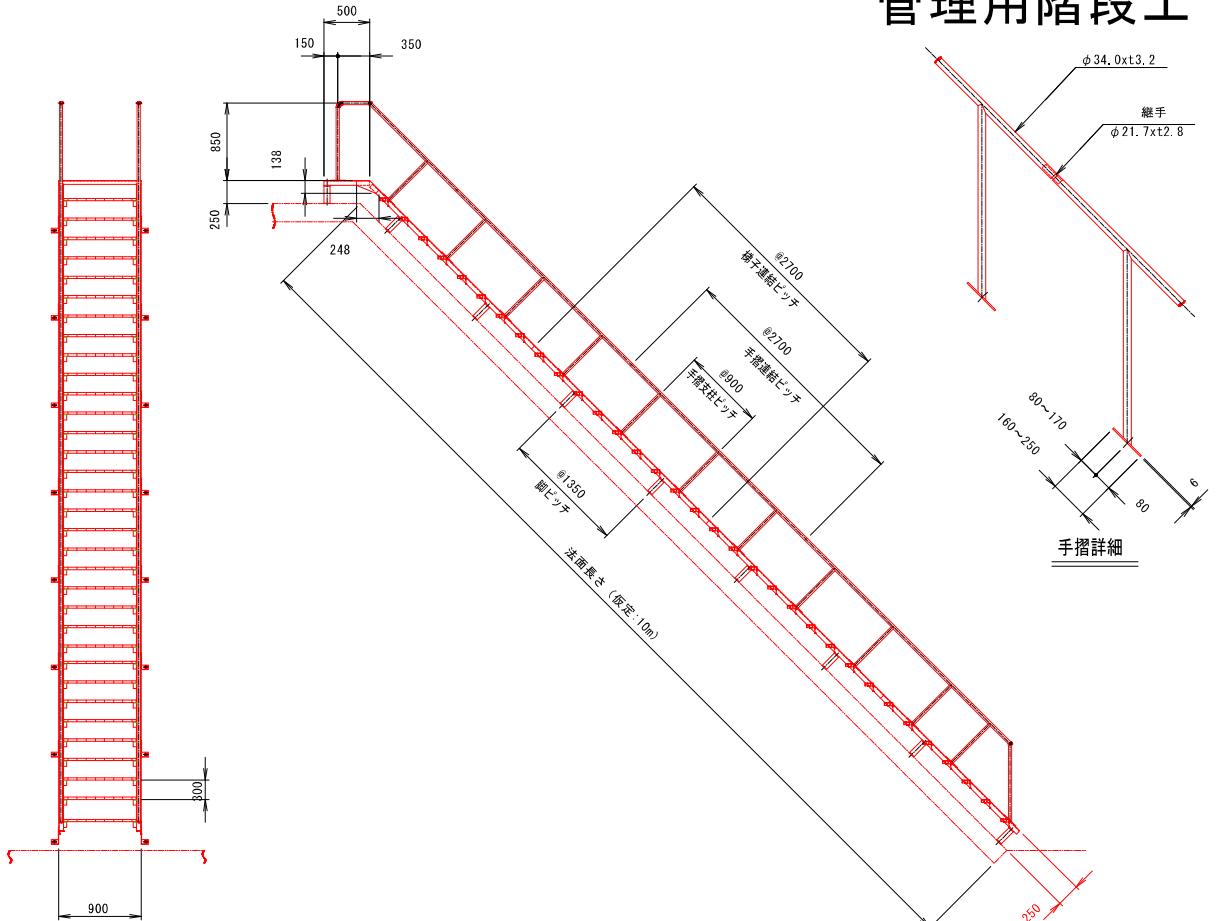
土工偏心算出図 S=1:500



実施設計図

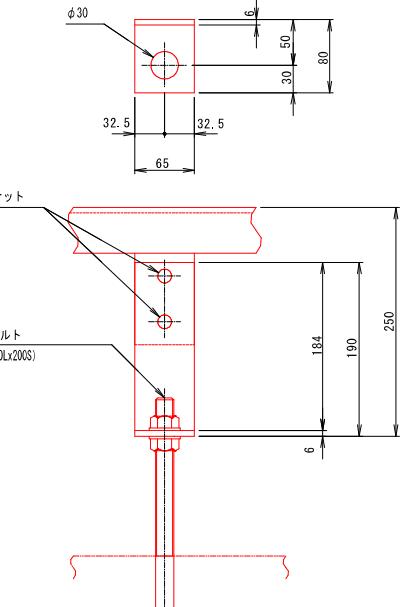
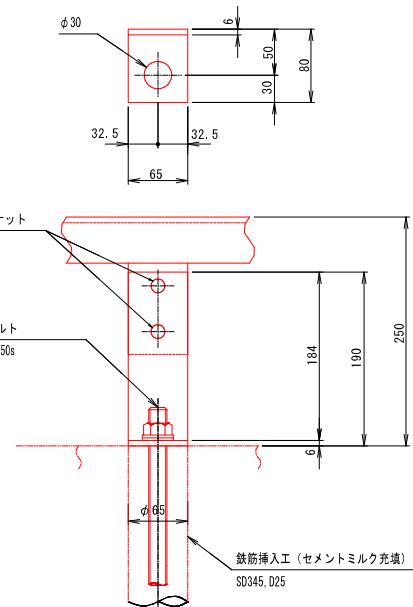
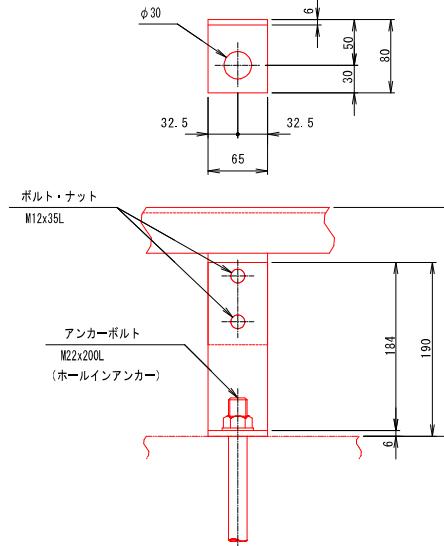
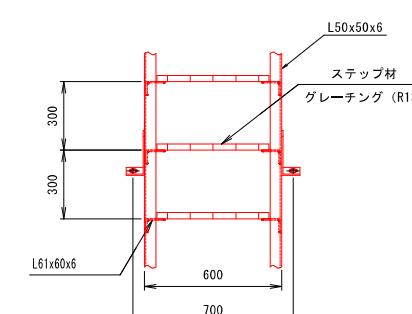
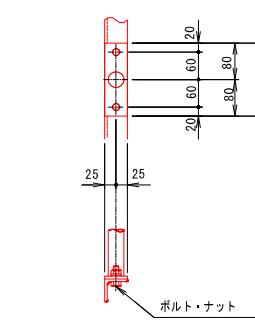
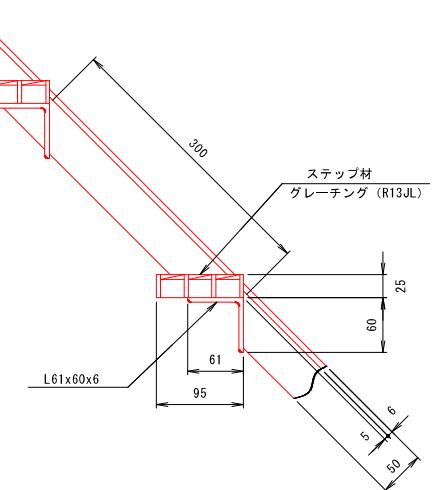
鹿児島県	
工事名	令和7年度 大規模特定防護等（急傾斜）工事（大峯3地区R7-1工区）
河川名	大峯川
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	土工偏心算出図
縮尺	S=1:500
図面番号	全 28 葉 第 27 号

# 管理用階段工 標準断面図

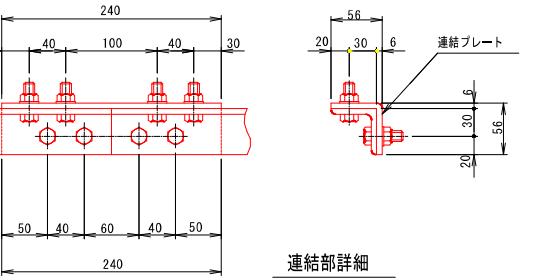
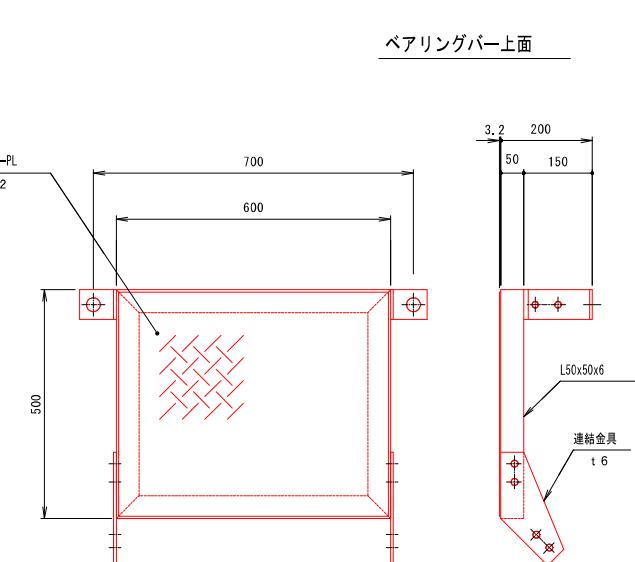


材料表 (法長10m 勾配1:1 参考) (1組分を示す)					
品名	寸法	単位重量	数量	重量	備考
L型鋼	L50x50x6x1000L	4.43kg/m	2	88.6	
梯子	L61x60x6x80	5.43kg/m	66	28.7	
ステップ材	グレーティング (R13JL) 95x490	1.36kg/枚	33	44.9	
連絡プレート	t6x106x240	1.2kg/組	6	7.2	数量5%含む
ボルト、ナット、SW、W	M12x35L	0.1kg/組	50	5.0	HDZ35
L型鋼	L50x50x6x2200L	4.43kg/m	1	9.7	
脚	PL3.2x490x590	26.80kg/m	2	53.6	HDZ45
スリット	PL6x138x248	47.10kg/m	2	94.2	
連絡金具	M12x35L	0.1kg/組	8	0.8	数量5%含む HDZ35
ボルト、ナット、SW、W	M22x200L	0.8kg/組	2	1.6	ホールインアンカー
脚	M22x1500L	6.2kg/組	16	99.2	HDZ35
手摺	FB65x6x100L	3.06kg/m	18	5.5	
脚	FB65x6x264L	3.06kg/m	18	5.5	
ボルト、ナット、SW、W	M12x35L	0.1kg/組	38	3.8	数量5%含む HDZ35
アンカーボルト、ナット、SW、W	M22x200L	0.8kg/組	2	1.6	ホールインアンカー
アンカーボルト、Wナット、SW、W	M22x1500L	6.2kg/組	16	99.2	HDZ35
手摺	φ34.0x3.2x1848L	2.43kg/m	2	8.6	HDZ45
脚	φ21.7x2.3x100L	0.1kg/本	8	0.8	HDZ35
手摺取付板	FB50x6x160L	2.36kg/m	2	0.8	
手摺取付板	FB50x6x170L	2.36kg/m	24	9.6	
ボルト、ナット、SW、W	M12x35L	0.1kg/組	55	5.5	数量5%含む HDZ35
総重量 426.9 kg/組					

手摺詳細 (Handrail Detail)



ステップ材詳細 (Step Material Detail)



実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和7年度 大規模特定砂防等(急傾斜)工事(大峠3地区R7-1工区)
河川名	大峠3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	管理用階段工 標準断面図
縮尺	図示
図面番号	全 28 番 第 28 号

アンカーボルト  
コンクリート及び硬岩に適用  
埋込穴φ30 深さ100mm  
踏り場脚固定用 (仮定)

アンカーボルト  
土砂に適用 (N=10を想定)  
有効埋込深さ1500mm  
踏り場脚固定用 (仮定)  
※コンクリート厚150mm未満の場合

アンカーボルト  
土砂に適用 (N=10を想定)  
有効埋込深さ1500mm  
踏り場脚固定用 (仮定)

踏り場詳細

(1組分を示す)